

十日町市発ブナ発見の旅

—世界・日本・十日町市のブナの不思議—

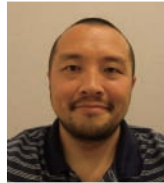


講演者



小林 誠 (こばやし まこと) 森の学校キョロロ 研究員/環境科学博士

1980年新潟県十日町市生まれ。ブナ林の美しさや不思議さに引き込まれ、北限域のブナ林の生態を研究し、2009年北海道大学で博士号取得。現在は、キョロロの研究員として、里山のブナ林における分断化の影響、市民協働のブナの森づくりに関する研究、十日町市ブナ林マップの作成を展開中。



斎藤 均 (さいとう ひとし) 氏 黒松内町ブナセンター 学芸員

1972年仙台市生まれ。黒松内町在住。大学院時代、南限域のブナ林の研究や東南アジアの熱帯雨林の調査を通して、巨木の森の魅力にとりつかれた。現在、黒松内岳ブナ林再生プロジェクトの事務局として、北限のブナ林の再生事業に取り組む。趣味：森の写真撮影、焚き火。



永幡 嘉之 (ながはた よしゆき) 氏 自然写真家

1973年兵庫県生まれ、自然写真家。山形市在住。世界のブナの森と、極東ロシアの動植物をテーマに撮影を続け、原生の自然とは何か、里山とは何かを考え続ける。昆虫類を中心とした動植物の調査を続け、山形県を中心とした各地のレッドデータブック執筆にも関わる。日本甲虫学会自然保護委員、東北芸術工科大学非常勤講師。



本間 航介 (ほんま こうすけ) 氏 新潟大学 農学部 准教授/理学博士

日本海側多雪地のブナ林の維持機構に興味を持ち、約10年にわたり谷川岳・浅草岳・奥只見など新潟県内の山を主なフィールドにして個体群生態学・生理生態学的研究を行ってきました。その後、世界の寒冷地・多雪地・高緯度・高標高など、樹木にとって厳しいストレスが生じる環境下で森林が成立するメカニズムを調べています。



松井 哲哉 (まつい てつや) 氏 森林総合研究所 主任研究員/農学博士

東京都出身。専門は植物生態学・植生学。環境コンサルタント会社を経て、ニュージーランド・オタゴ大学にて森林生態学を学ぶ。その後、森林総合研究所にて地球温暖化がブナ林に与える影響についての研究を開始。分布予測モデルによるブナ林の生態的分布適域予測のほか、北限域のブナ林の分布や生態についても研究中。



柳 一成 (やなぎ かずなり) 氏 ひなの宿千歳 専務/松之山温泉合同会社まんま 代表

1965年松之山温泉生まれ。産湯から温泉に浸かる。松之山温泉郷で旅館業を営む傍ら「松之山の人、生活、自然など「そのまんま」を地元も来訪者も楽しむことでもっと楽しいまちをつくる会社「まんま」を2008年に設立。まんま、里山のめぐみ案内人の会、キョロロと協働によるブナ林案内は好評。

パネルディスカッションコーディネーター



村山 暁 (むらやま さとる) 氏 森の学校キョロロ 館長

1949年松之山出身。教員として38年間勤め、今春退職。この間、理科学習や自然観察を通して自然のしくみの巧みさや不思議さ、美しさを子どもたちと生きてきた。森の学校キョロロの設立からかわり、地域活性化の拠点施設としてのあり方の検討を重ねてきた。趣味：天文、野鳥、昆虫。



お問い合わせ

十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」



〒942-1411 新潟県十日町市松之山松口 1712-2
TEL:025-595-8311 / FAX:025-595-8320
E-mail: kyororo@dolphin.ocn.ne.jp
URL: <http://www.matsunoyama.com/kyororo/>



キョロロで開催中

2010 10/2(土) - 2011 7/3(木)

雪里のブナ展

- 日本三大ブナ林・美人林の美にせまる -

